

仙台市東部復興道路整備事業



平成30年3月に完了した岡田新浜工区の盛土工事



ともに、前へ 仙台
Moving Forward As One
SENDAI

平成30年4月
仙台市建設局

目次

1. 仙台市東部復興道路整備事業について
 - 1-1 東部復興道路整備事業
2. かさ上げ道路整備について
 - 2-1 かさ上げ道路の整備概要
 - 2-2 震災がれき等の盛土材への活用
 - 2-3 津波遡上対策の概要
3. 避難道路整備について
 - 3-1 避難道路の整備概要
4. 進捗状況について
 - 4-1 工事の進捗状況

1-1 仙台市東部復興道路整備事業

津波により甚大な被害を受けた東部地域の再生に向けて、物理的な「多重防御」、「避難」のための施設整備等の総合的な対策を進めている。道路事業では以下の3つの整備を実施



① かさ上げ道路の整備

多重防御の要として、道路をかさ上げて堤防機能を付加

- ・ 県道 塩釜亘理線等

② 避難道路の整備

東部地域を東西に結ぶ3本の骨格道路について、人や車が円滑に避難できるよう拡幅整備を実施

- ・ 市道 南蒲生浄化センター1号線
- ・ 県道 荒浜原町線
- ・ 県道 井土長町線

③ 避難経路(既存市道等)の整備

主に集落の方々が、津波避難施設等へ円滑に避難できるように、既存市道等の一部改良を実施

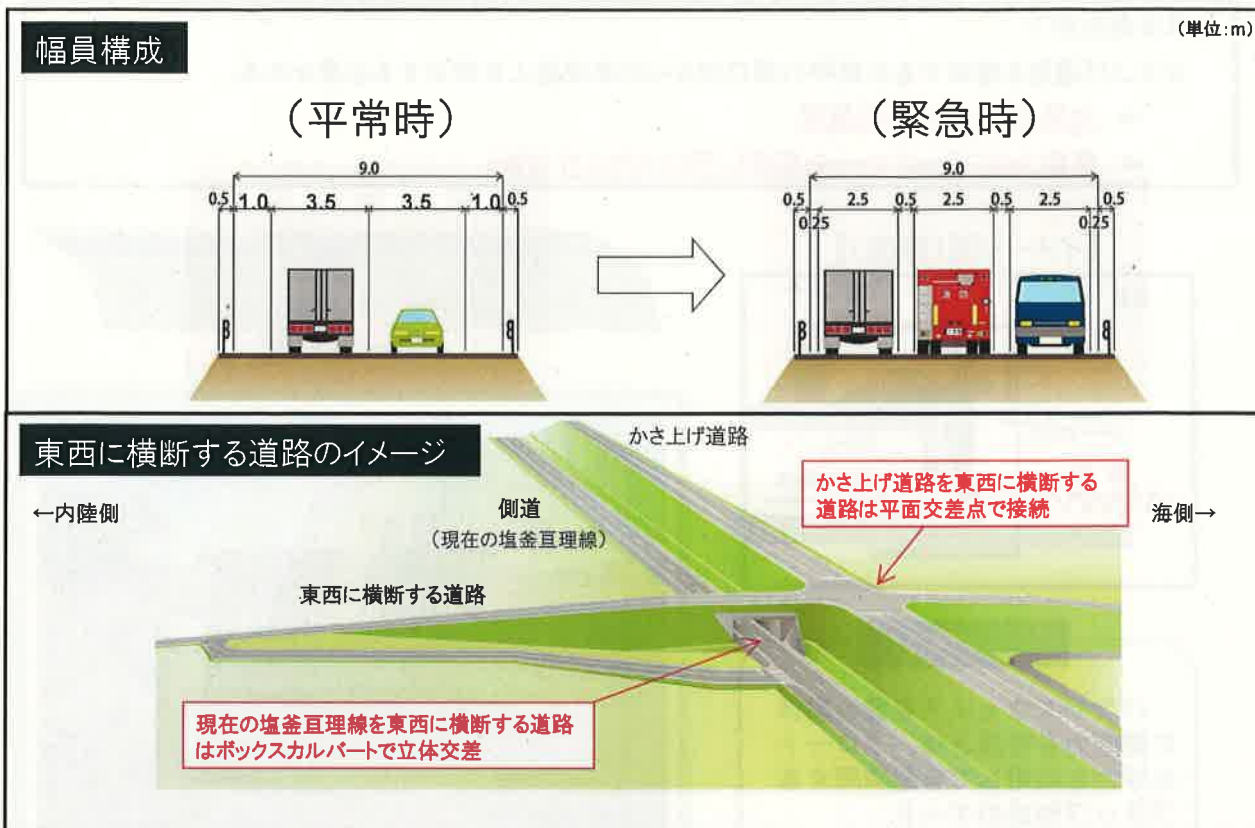
2-1 かさ上げ道路の整備概要①



かさ上げ道路事業の概要

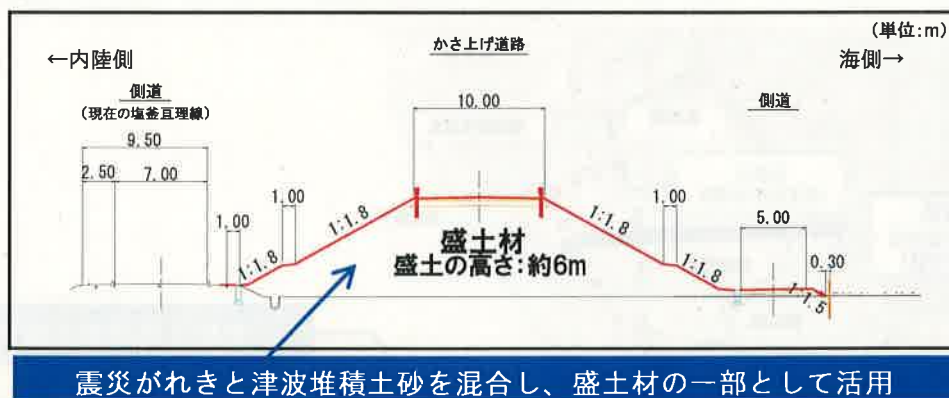
- 全体延長：10.2km
(七北田川から名取川まで)
- 道路幅員：7.0~9.0m
(片側1車線ずつの2車線道路)
- 盛土高さ：約6m
(海面[T.P.]から7mを確保)
- 事業費：約192億円
(復興交付金)
- 完成予定：平成30年度末

2-1 かさ上げ道路の整備概要②



3

2-2 震災がれき等の盛土材への活用



(震災がれき等 混合処理)



(混合処理土 搬出状況)

4

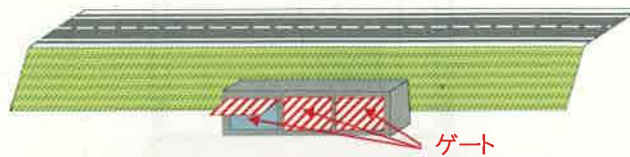
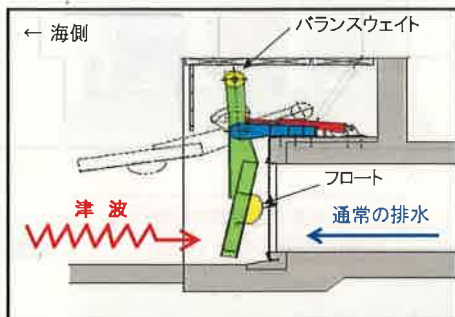
2-3 津波遡上対策の概要

＜津波発生時＞

かさ上げ道路を横断する水路等の開口部からの津波遡上を防止する必要がある。

- ⇒ 対策工としてゲートを設置
- ⇒ 無動力のフラップゲートを採用(バランスウェイト付き)

【イメージ図(側面)】



【完成イメージ】



ゲート構造

バランスウェイトを設け扉体の開閉力を軽減させ、フロートの浮力を利用して自動開閉するフラップ形式のゲート

5

3-1 避難道路の整備概要①



避難道路事業の概要

全体延長：約 7km
 市道 南蒲生浄化センター-1号線 約3.2km
 県道 荒浜原町線 約2.2km
 県道 井土長町線 約1.6km
 車道幅員：8.0m
 歩道幅員：2.5m
 事業費：約22億円
 (3路線合計：復興交付金)
 完成予定：平成30年度末

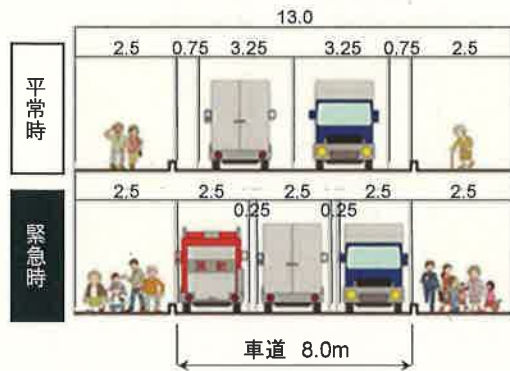
6

3-1 避難道路の整備概要②

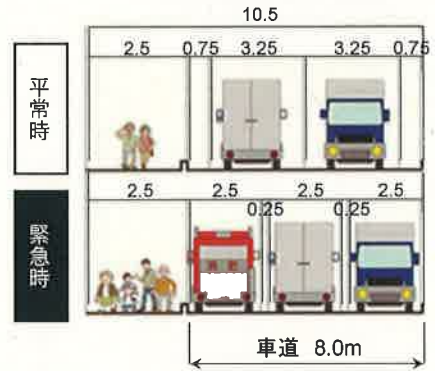
- ◆車道幅員の確保
- ◆歩道の連続性を確保
 - ⇒ 集落等歩行者が多い区間は両側歩道を整備
 - ⇒ それ以外の区間は片側歩道を整備
 - ⇒ 幅員は2.5mを確保



【両側歩道区間】



【片側歩道区間】



4-1 工事の進捗状況

平成30年4月

【工事着手率】

<かさ上げ道路> 約100% (着手済延長 約10.2km / 整備延長 約10.2km) うち1.6km完成 (盛土)
 <避難道路> 約 86% (着手済延長 約 6.0km / 整備延長 約 7.0km) うち2.7km完成



平成30年秋頃より、盛土工事が完了した区間から順次舗装工事に着手し、併せて、防護柵や照明灯等の交通安全施設の設置を行い、平成30年度末の完成を目指す。

【凡例】

盛土完了	施工中	平成30年度 発注
------	-----	--------------

